

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

1 調査の概要

(1) 調査の目的

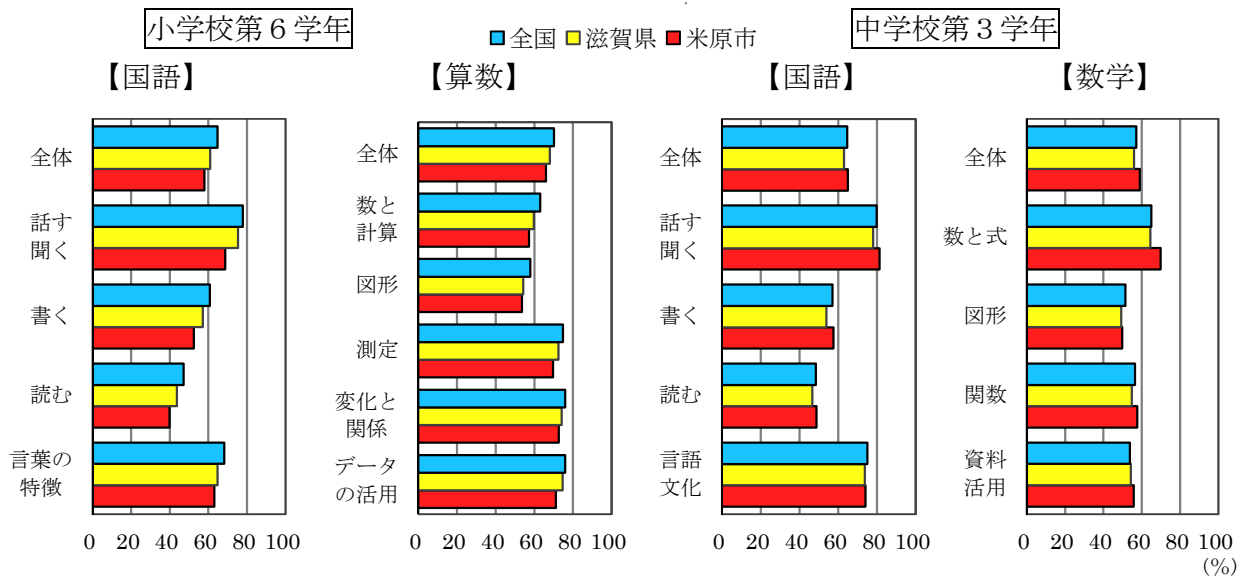
義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象および内容

- ・調査対象 … 小学校第6学年（市内9校）360人、中学校第3学年（市内6校）298人
- ・調査内容 … 教科に関する調査
 - ・小学校第6学年：国語、算数（各45分）
 - ・中学校第3学年：国語、数学（各50分）
- 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査（20～40分程度）
 - ・学校に対する調査
- ・調査期日 … 令和3年5月27日（木）

2 教科に関する調査の結果

(1) 標準学力調査の平均正答率



国語は滋賀県、全国平均と比べて下回る。特に、「話す・聞くこと」「読むこと」に課題がある。

算数は滋賀県、全国平均と比べて下回る。特に、「測定」「数と計算」に課題がある。

国語は滋賀県、全国平均と比べて上回る。多くの項目で全国を上回っているが、「言語文化」は全国を下回り、課題がある。

数学は滋賀県、全国平均と比べて上回る。多くの項目で全国を上回っているが、「図形」は全国を下回り、課題がある。

(2) 正答率が低かった問題

① 小学校第6学年【国語】「読むこと」「思考・判断・表現」

3 四 相川さんは、【資料】を読み、面ファスナーが宇宙でも使われていることについてまとめています。面ファスナーは、国際宇宙ステーションの中でどのように使われていますか。次の条件に合わせて書きましょう。

<条件>○面ファスナーのよさを取り上げて、国際宇宙ステーションの中での使われ方について書くこと。

○【資料】から言葉や文を取り上げて書くこと。

○五十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。

【資料】

面ファスナー

面ファスナーは、かさやくつなど、さまざまな製品の留め具として使われています。簡単にくっつけたり、はがしたりすることができる、とても便利な道具です。

面ファスナーは、一九四八年にスイスで起こったあるできごとがきっかけで開発されました。狩猟のために、愛犬をつれて山に登ったジョルジュ・デ・メストラルは、犬の毛に野生のゴボウの実がたくさんついていることに気がきました。不思議に思い、その実を持ち帰って顕微鏡でくわしく調べてみると、ゴボウの実は先の曲ったかぎ状のトゲでおおわれていることがわかりました。そのトゲが犬の毛にからみついていたのです。このことをヒントにメストラルは研究を重ね、数年後、特殊な素材を使い、面ファスナーを作り出しました。

一九六〇年に、日本ではじめて面ファスナーの製造・販売が始まりました。しかし、そのよさや使い道はなかなか世の中に伝わりませんでした。広く知られるようになったきっかけは、一九六四年十月の東海道新幹線の開業でした。新幹線の座席のヘッドレストカバー（頭をあてる布）の留め具として、面ファスナーが採用されたのです。新幹線の清掃作業の際には、短時間でヘッドレストカバーを交換する必要があります。そのため、一つ一つ取り外さなければならぬホックやボタンより留め外しの簡単な面ファスナーの方が、留め具として適していたのです。誰もが注目する新幹線に使われたことで話題となり、その存在が日本中に知られるようになりました。

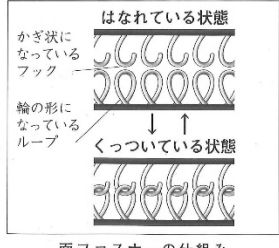
一九八〇年代には、私たちの身近にある製品でも使われるようになりました。財布やかばん、かさなどの家庭用品をはじめ、サポーターや血圧計の巻き付けバンドなどの医療用品にも広がっていきました。布のように柔軟性があり、物や体の形にぴったり合わせることでできる面ファスナーが適していたからです。中でも大流行したのが、面ファスナーを使った運動くつでした。ひもくつに比べ、手間をかけずに目的や好みに合わせてしめぐあいを調節することができるよさが支持されたのです。同時に、素材の開発も進められました。現在では水に強く熱にも強い素材で作られているものもあります。

また、しっかりとくっつき簡単にはがすことができる面ファスナーは、宇宙でも使われています。地球のまわりを回る国際宇宙ステーションの中は無重力状態のため、物がうかびます。そこで活躍しているのが面ファスナーです。国際宇宙ステーション内のかべや天井には、あらゆる場所に面ファスナーがつけられています。ペンやスプーン、カメラやコンピュータなど、身の回りの全ての物が固定できるようになっています。

一人の気づきから誕生した面ファスナーは、人びとの要求に応える形で、活躍の場を広げてきました。身近な生活場面だけでなく、宇宙空間にまで広がり、さらなる便利さが追求されています。



国際宇宙ステーションとその内部



面ファスナーの仕組み

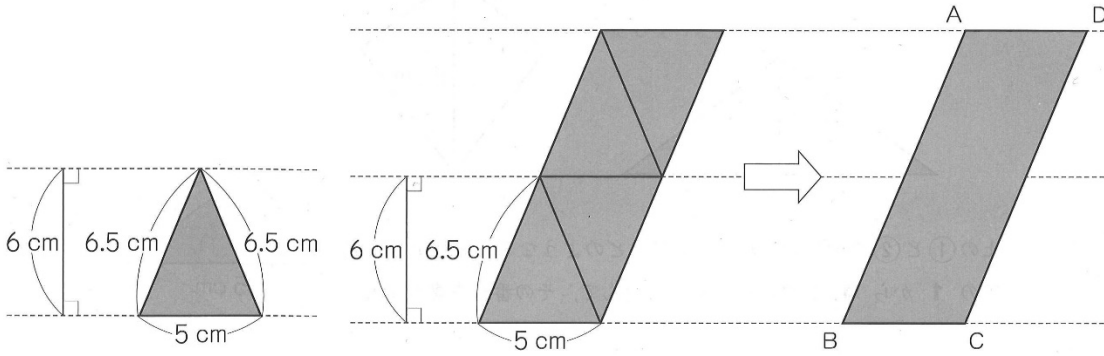
② 小学校第6学年【算数】「図形」「思考・判断・表現」

2 (3) 次のような二等辺三角形があります。この二等辺三角形を4つ使い、右のような同じ長さの辺どうしを合わせて、平行四辺形 ABCD をつくりました。

平行四辺形の面積の公式を使って、平行四辺形 ABCD の面積を求めます。

辺 BC を底辺としてときの面積の求め方を、式や言葉を使って書きましょう。そのとき、平行四辺形 ABCD の高さをどのように求めたのかがわかるようにしましょう。

また、平行四辺形 ABCD の面積が何 $c \text{ m}^2$ になるかも書きましょう。



③ 中学校第3学年【国語】

「読むこと」「国語への関心・意欲・態度」

3 四【紹介】に_____線部「様々に評価する」とあります

【文章の一部】では、「吾輩」は「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしていますか。また、あなたは、そのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

【紹介】
 中学教師の苦沙弥先生の家で暮らす猫「吾輩」から見れば、世の中は全くもって滑稽そのもの。周囲の様子を観察し、様々に評価する。ユーモアあふれる長編小説である本作は、漱石が三十八歳のときに発表して以来、多くの読者に愛されてきた。今なお、多くの人の共感を呼ぶ名作。



条件1 【文章の一部】から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしているのかが分かるのかを書くこと。

条件2 条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書くこと。

【文章の一部】

「(こ)まのあらし」 苦沙弥先生の家で暮らす猫の「吾輩」は、ある日、家の外にある茶臼で黒猫の「黒」と出会う。「黒」は大きな体格で、重厚(大万車を引く人)に剛(剛)われている黒猫である。それ以来、「吾輩」はたびたび「黒」に出くわすようになる。

ある日、例のごとく茶臼と黒は暖かい茶臼の中で寝ころびながら、いろいろな雑談をしていると、彼はいつもの自慢話をさも新しくくりかえし始めた。吾輩は向かって下のごく質問した。

「おめえは、いままで、黒を何びきりもつたことがある。」

吾輩は黒よりもよほど発達しているつもりだが、腕力と勇気とはいつだって黒の比較にはならないと覚悟はしていたものの、この問いに接したときは、さすがにさまりがよくはなかった。けれども事は事実で、いつわられるわけはゆかないから、吾輩は、

「実はどうとうと思っ、またとらない」と答えた。

黒は、彼の黒の先からびんとつぼまっている長いひげをひりひりとするので、非常に笑った。元来黒は自慢をするだけなどか足りないところがあって、彼の気持を感心したようにのどをころころ鳴らして謙遜して、いれば、はなはだ御しやすい猫である。吾輩は彼と近づきになってからすぐにこの剛傲をのみ込んだから、この場合にも、なまじいおのれを弁解して、思案を定めた。そこで、おとどしく、

「君などは年が年であるから、だいぶんとつたらう」と、そでのかしてみた。

果敢(果敢)は、雄辯(雄辯)の先所に戦(戦)して来た。

「たんとでもねえ、二、四十はとつたらう」とは、得意気なる彼の答であった。彼はなお語をつづけて、「服の首や二百は一人です、でも引き受けるが、いた、ちてやつは手に合合わせ。度、いた、ち何から、ひと目にあつた。」

「へえ、なるほど」と、あいづちをつつ。

黒は大きな眼をぱちつかせて、いう。

「去年の大掃除のとき、うちの亭主が石床の炭を持って縁の下へはいこんだら、おめえ、大きな、うちの野郎がめんくらつて飛びだしたと思ねえ。」

「ふん」と感心して見せる。

「いた、ちつてけども、なに、鼠のすこし大さいくれえのものだ、こんちきしょうつて、追つかけて、とうとうぶの中へ追いこんだと思ねえ。」

「うまくやつたね」と喝采(喝采)してやる。

「ところが、おめえ、いざつてえ段になると、やつめ最後つ尻をこきやがった、くせな、くせな、くせな、それからつてえものは、いた、ちを見たら胸が痛くならあ。」

彼はここにいたつて、あなかも去年の臭気をお感することく、前足あげて鼠の頭を、「二、二べんまでまわした。吾輩も少々気のどくを感じます。ちつと臭気をつけてやうと思つて、

「しかし鼠なら、君にいらされては百年目だらう。君はあまり鼠をとるのが名人で鼠ばかり食うものだから、そんなにぶつて色つやがいいのだらう。」

黒のこきげをいえるためのこの質問は、ふしぎにも返答の結果を出した。彼は黙として人(人)をうらやまして、

「おめえのとつて、いくら様で鼠をとつたつて、いつて人間はどかてやつは世の中にいねえ。人のとつた鼠をみんを取りあげやがつて、交際(交際)へ持つてゆきあがる。交番(交番)じゃ、だれがとつたかわからねえから、そのたんびに五銭ずつくれるじゃねえか。うちの亭主なんか、おれのおかけでもう一円五十銭くらいもつけていやがるよ、ろくなもの食わせてこどもありやねえ。お、人間でもあつていい雑談だぜ。」

さすが無学の黒もこのくらの理屈はわかるとみえて、すぶるおこつたよすで背中の毛を逆だてている。吾輩は少々気味が悪くなったから、いいかげんにその場をこましかして、うちへ帰った。

このときから吾輩は、けつして鼠をとるまいと決心した。しかし、黒の子分になって鼠以外の「ちせう」をあさつていくこともなかった。「ちせう」を食うよりも寝ていたほうが気楽だ。

【文章の一部】

「(こ)まのあらし」 苦沙弥先生の家で暮らす猫の「吾輩」は、ある日、家の外にある茶臼で黒猫の「黒」と出会う。「黒」は大きな体格で、重厚(大万車を引く人)に剛(剛)われている黒猫である。それ以来、「吾輩」はたびたび「黒」に出くわすようになる。

ある日、例のごとく茶臼と黒は暖かい茶臼の中で寝ころびながら、いろいろな雑談をしていると、彼はいつもの自慢話をさも新しくくりかえし始めた。吾輩は向かって下のごく質問した。

「おめえは、いままで、黒を何びきりもつたことがある。」

吾輩は黒よりもよほど発達しているつもりだが、腕力と勇気とはいつだって黒の比較にはならないと覚悟はしていたものの、この問いに接したときは、さすがにさまりがよくはなかった。けれども事は事実で、いつわられるわけはゆかないから、吾輩は、

「実はどうとうと思っ、またとらない」と答えた。

黒は、彼の黒の先からびんとつぼまっている長いひげをひりひりとするので、非常に笑った。元来黒は自慢をするだけなどか足りないところがあって、彼の気持を感心したようにのどをころころ鳴らして謙遜して、いれば、はなはだ御しやすい猫である。吾輩は彼と近づきになってからすぐにこの剛傲をのみ込んだから、この場合にも、なまじいおのれを弁解して、思案を定めた。そこで、おとどしく、

「君などは年が年であるから、だいぶんとつたらう」と、そでのかしてみた。

果敢(果敢)は、雄辯(雄辯)の先所に戦(戦)して来た。

「たんとでもねえ、二、四十はとつたらう」とは、得意気なる彼の答であった。彼はなお語をつづけて、「服の首や二百は一人です、でも引き受けるが、いた、ちてやつは手に合合わせ。度、いた、ち何から、ひと目にあつた。」

「へえ、なるほど」と、あいづちをつつ。

黒は大きな眼をぱちつかせて、いう。

「去年の大掃除のとき、うちの亭主が石床の炭を持って縁の下へはいこんだら、おめえ、大きな、うちの野郎がめんくらつて飛びだしたと思ねえ。」

「ふん」と感心して見せる。

「いた、ちつてけども、なに、鼠のすこし大さいくれえのものだ、こんちきしょうつて、追つかけて、とうとうぶの中へ追いこんだと思ねえ。」

「うまくやつたね」と喝采(喝采)してやる。

「ところが、おめえ、いざつてえ段になると、やつめ最後つ尻をこきやがった、くせな、くせな、くせな、それからつてえものは、いた、ちを見たら胸が痛くならあ。」

彼はここにいたつて、あなかも去年の臭気をお感することく、前足あげて鼠の頭を、「二、二べんまでまわした。吾輩も少々気のどくを感じます。ちつと臭気をつけてやうと思つて、

「しかし鼠なら、君にいらされては百年目だらう。君はあまり鼠をとるのが名人で鼠ばかり食うものだから、そんなにぶつて色つやがいいのだらう。」

黒のこきげをいえるためのこの質問は、ふしぎにも返答の結果を出した。彼は黙として人(人)をうらやまして、

「おめえのとつて、いくら様で鼠をとつたつて、いつて人間はどかてやつは世の中にいねえ。人のとつた鼠をみんを取りあげやがつて、交際(交際)へ持つてゆきあがる。交番(交番)じゃ、だれがとつたかわからねえから、そのたんびに五銭ずつくれるじゃねえか。うちの亭主なんか、おれのおかけでもう一円五十銭くらいもつけていやがるよ、ろくなもの食わせてこどもありやねえ。お、人間でもあつていい雑談だぜ。」

さすが無学の黒もこのくらの理屈はわかるとみえて、すぶるおこつたよすで背中の毛を逆だてている。吾輩は少々気味が悪くなったから、いいかげんにその場をこましかして、うちへ帰った。

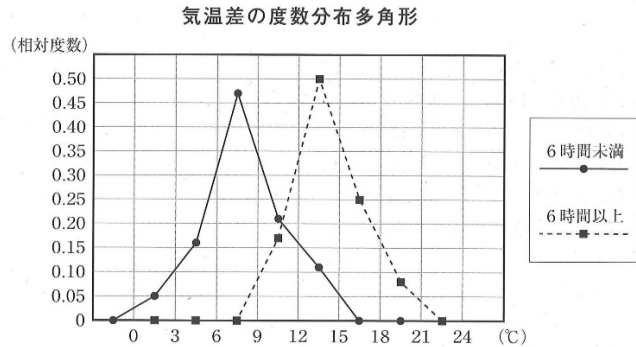
このときから吾輩は、けつして鼠をとるまいと決心した。しかし、黒の子分になって鼠以外の「ちせう」をあさつていくこともなかった。「ちせう」を食うよりも寝ていたほうが気楽だ。

④ 中学校第3学年【数学】「資料の活用」「数学的な見方や考え方」

8 (3) 桃花さんは、**気温差の度数分布表**をもとに、横軸を気温差、縦軸を相対度数として度数分布多角形（度数折れ線）に表した。**気温差の度数分布多角形**から、「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、**気温差の度数分布多角形の2つの度数分布多角形の特徴を比較して説明**しなさい。

気温差の度数分布表

気温差(℃)	6時間未満		6時間以上	
	度数(日)	相対度数	度数(日)	相対度数
以上 未満				
0 ~ 3	1	0.05	0	0.00
3 ~ 6	3	0.16	0	0.00
6 ~ 9	9	0.47	0	0.00
9 ~ 12	4	0.21	2	0.17
12 ~ 15	2	0.11	6	0.50
15 ~ 18	0	0.00	3	0.25
18 ~ 21	0	0.00	1	0.08
合計	19	1.00	12	1.00



<求められる力>

【国語】・話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えたり、資料を活用して自分の考えが伝わるように話したりすることができる。

・説明的な文章を読んで文章全体の構成を捉え、目的に応じて中心となる語や文を見つけて要約したり、文章と図を結びつけるなどして必要な情報を見つけたりすることができる。

・筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考えたり、目的や意図に応じて書き表し方を工夫したりしながら、自分の考えを主張する文章を書くことができる。

【算数】・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、必要な数量やその関係(数学)を捉え、数学的に表現・処理することができる。

・図形の計量について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、筋道を立てて説明することができる。

・身の回りの事象について、統計的に問題解決するために、集めるべきデータを判断したり、データを分類整理したり、表やグラフからデータの特徴や傾向を読み取ったりすることができる。

3 質問紙調査の結果

(1) 質問紙調査の肯定値

① 「肯定値」とは

肯定値…4択の質問を対象に、各選択肢に次の配点で得点を与え、カテゴリー毎に算出した平均値に25を掛けた値。

最も望ましい／良好な選択肢（強い肯定）に「配点：4」
 次に望ましい／良好な選択肢（弱い肯定）に「配点：3」
 改善／配慮を要する選択肢（弱い否定）に「配点：2」
 特に改善／配慮を要する選択肢（強い否定）に「配点：1」

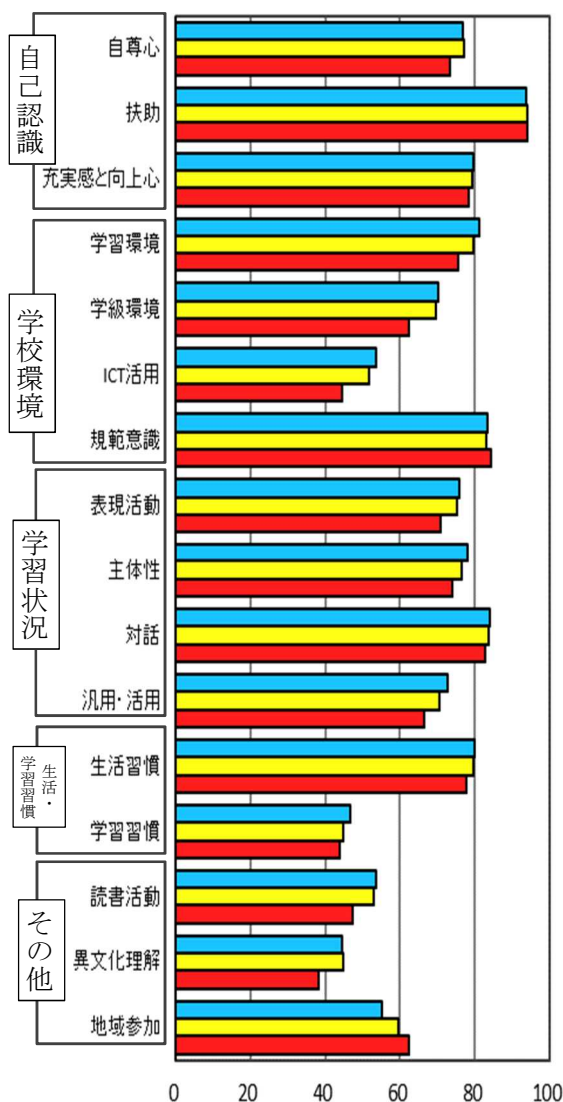
② カテゴリー分類

- I 自己認識 ⇒ 「自尊心」「扶助」「充実感と向上心」
- II 学校環境 ⇒ 「学習環境」「学級環境」「ICT活用」「規範意識」
- III 学習状況 ⇒ 「表現活動」「主体性」「対話」「汎用・活用」
- IV 生活・学習習慣 ⇒ 「生活習慣」「学習習慣」
- V その他 ⇒ 「読書活動」「異文化理解」「地域参加」

※各教科に関することや解答時間、
 コロナなどの質問は集計から除外。

③ 小学校第6学年の肯定値

■全国 ■滋賀県 ■米原市

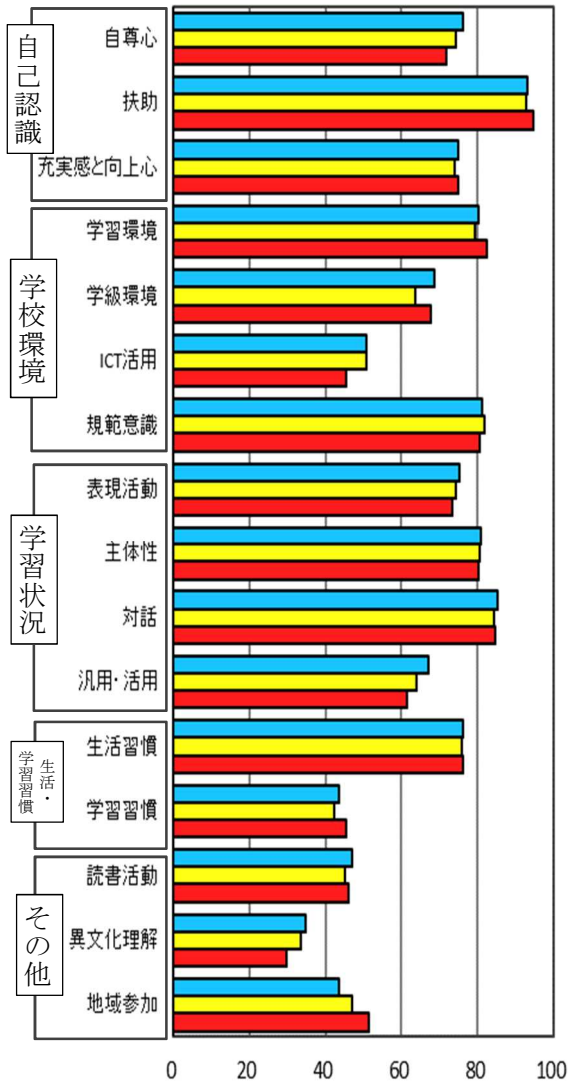


- ・最も肯定値が高い質問
 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」97.5
- ・最も肯定値が低い質問
 「新聞を読んでいますか。」12.4
- ・全国と比較して肯定値が高い質問
 「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」72.9(+14.8)
 「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)」76.0(+2.0)
 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」97.2(+1.7)
- ・全国と比較して肯定値が低い質問
 「あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか」20.1(-18.9)
 「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。」62.7(-10.7)

「対話」「扶助」「規範意識」の値が8割を超えて良好である。「異文化理解」が4割未満である。全国と比較すると、「規範意識」「地域参加」の値が高く、「学級環境」「読書活動」「ICT活用」に課題がある。

④ 中学校第3学年の肯定値

■全国 ■滋賀県 ■米原市



- ・最も肯定値が高い質問
「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができているですか。」97.6
- ・最も肯定値が低い質問
「新聞を読んでいますか。」13.1
- ・全国と比較して肯定値が高い質問
「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」58.0(+14.3)
「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)」49.3(+7.5)
- ・全国と比較して肯定値が低い質問
「あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか」20.5(-14.3)
「1,2年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか。」49.6(-9.9)

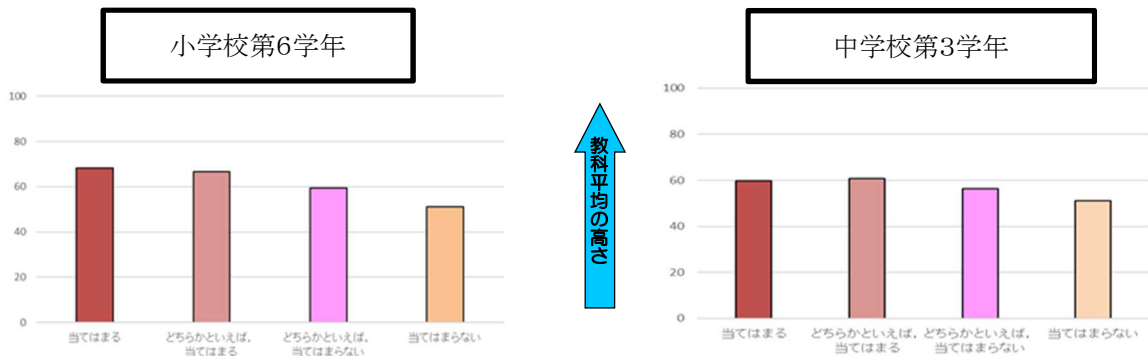
「扶助」「学習環境」「規範意識」「主体性」「対話」の値が8割を超えて良好である。「異文化理解」が4割未満である。全国と比較すると、「地域参加」の値が高く、「汎用・活用」「ICT活用」に課題がある。

(2) 学力調査結果とのクロス集計

質問紙調査における児童生徒が回答した選択肢別の算数(数学)の平均正答率

① I 自己認識

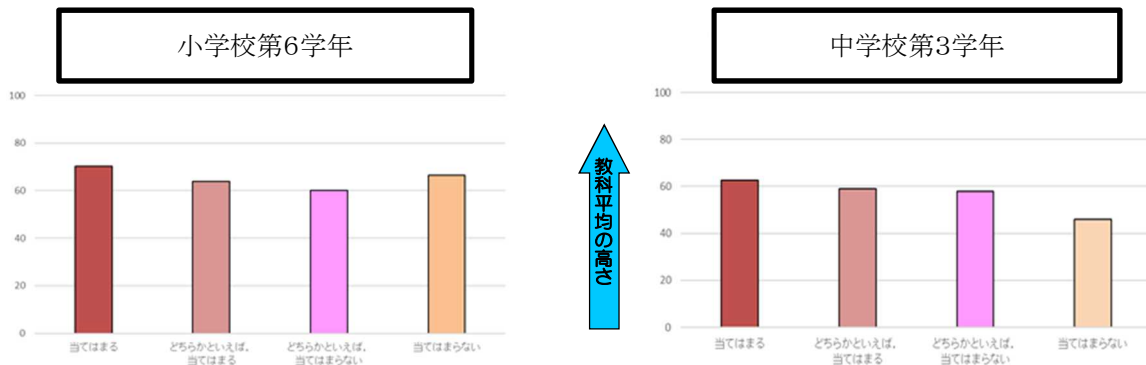
「学校に行くのは楽しいと思いますか。」



・学校が楽しいと感じている児童生徒ほど平均正答率が高い傾向にある。

② II 学校環境

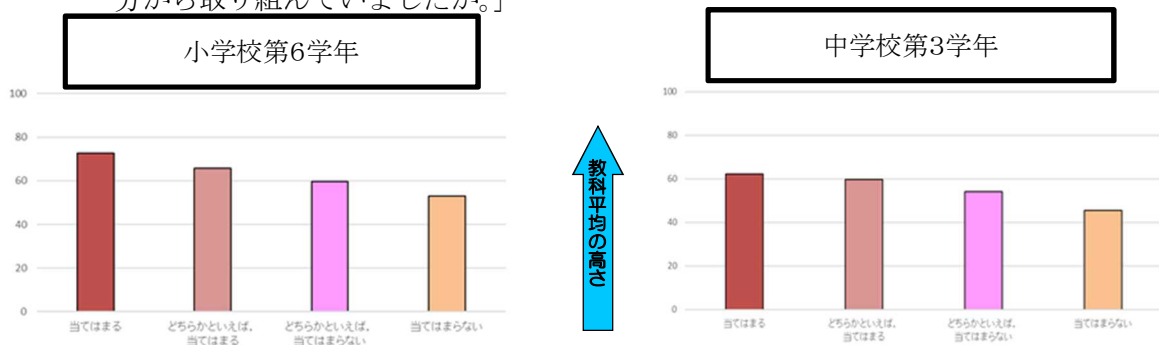
「5年生（1，2年生）のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。」



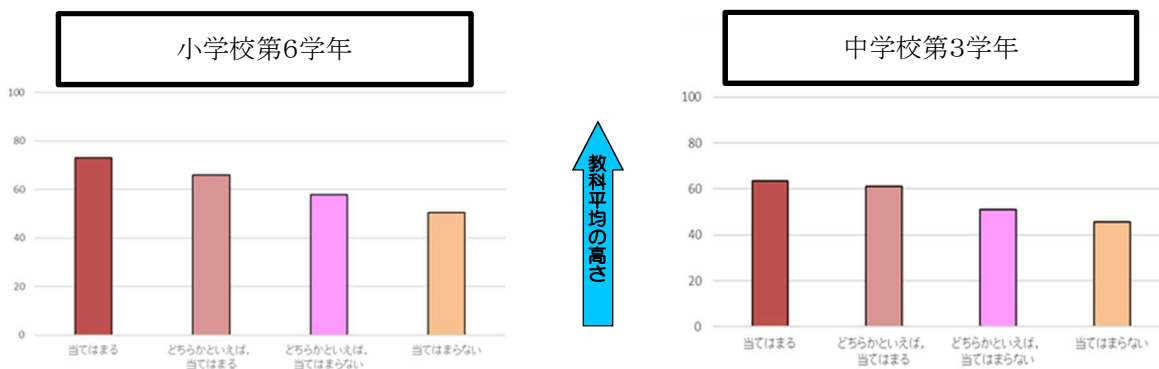
- ・自分にあった教え方、教材、学習時間になっていたと感じている児童生徒ほど平均正答率が高い傾向にある。

③ III 学習状況

「5年生（1，2年生）のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」



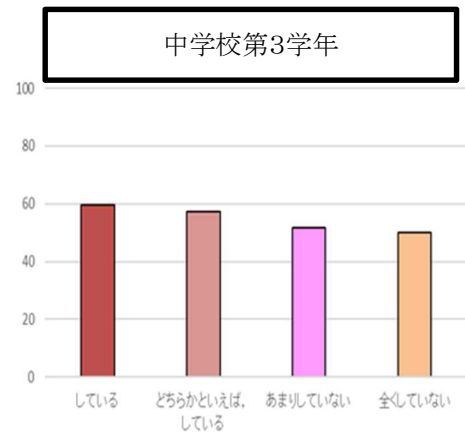
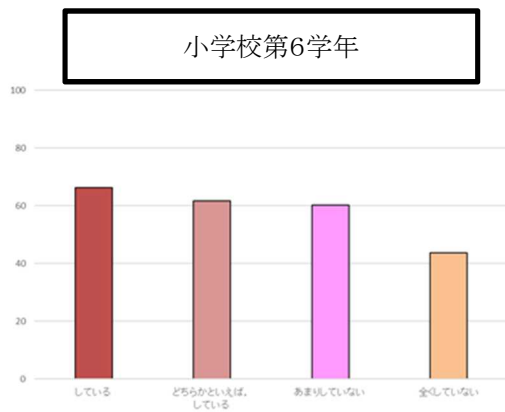
「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。」



- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる児童生徒ほど平均正答率が高い傾向にある。
- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている児童生徒ほど平均正答率が高い傾向にある。

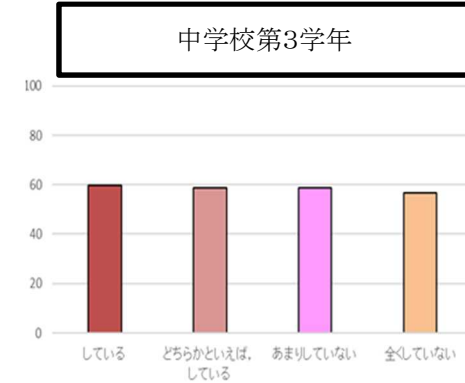
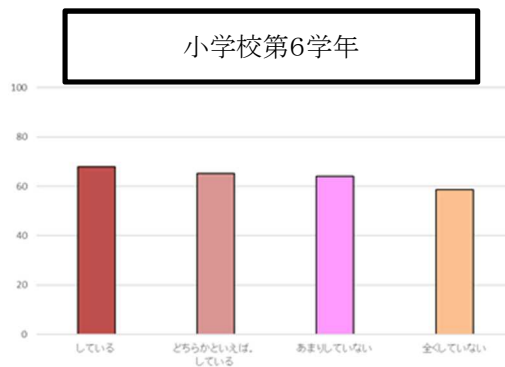
④ IV 生活・学習習慣

「朝食を毎日食べていますか。」



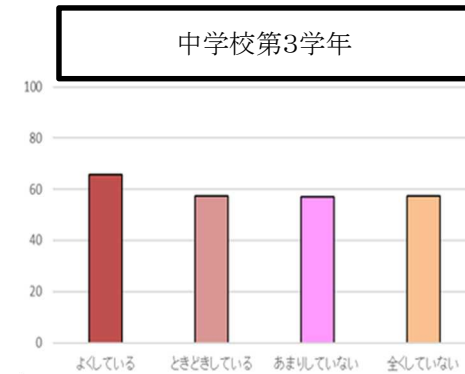
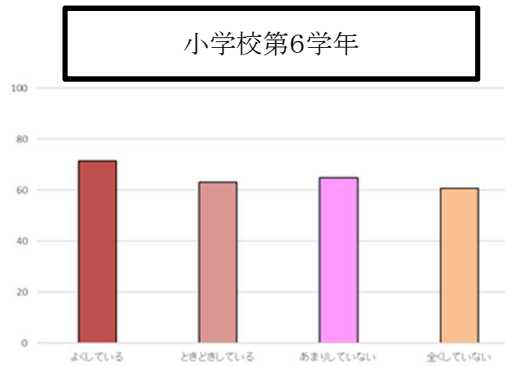
教科平均の高低

「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」



教科平均の高低

「家で自分で計画を立てて勉強していますか。(学校の授業の予習や復習を含む)」

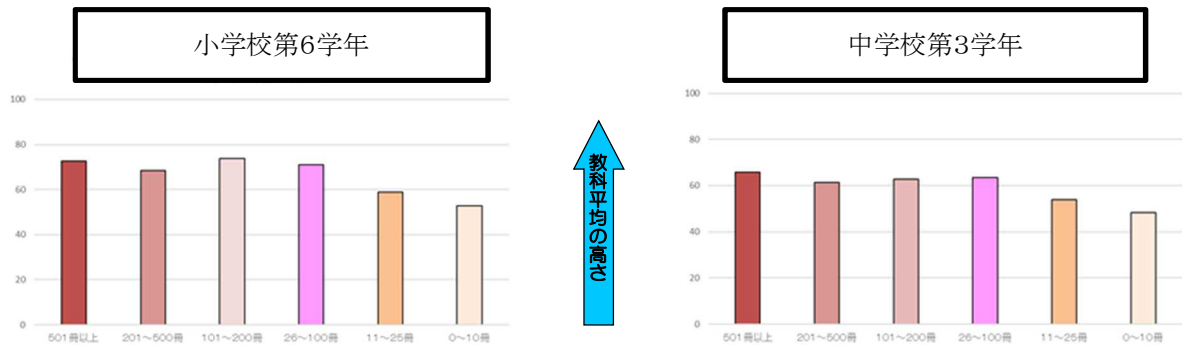


教科平均の高低

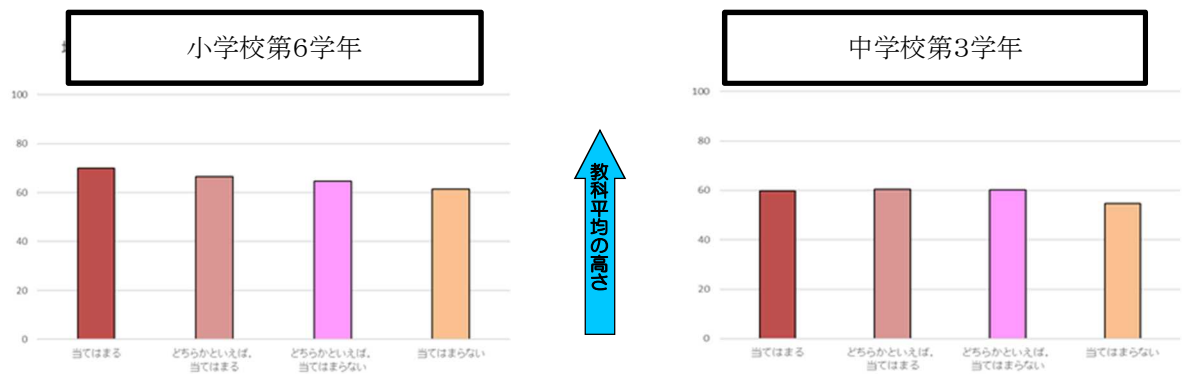
- ・朝食を毎日食べている児童生徒ほど平均正答率が高い傾向にある。
- ・規則正しい生活など、基本的な生活習慣が身についている児童生徒ほど平均正答率が高い傾向にある。
- ・学習計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる児童生徒ほど平均正答率が高い傾向にある。

⑤ V その他

「あなたの家には、およそどれくらい本がありますか。(雑誌、新聞、教科書は除く)」



「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。」



- ・家に本がたくさん（26冊以上）ある児童生徒ほど平均正答率が高い傾向にある。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきか考えている児童生徒ほど平均正答率が高く、小学生ほどその傾向が強い。